

そらんぽへ行こう

問 四日市公害と環境未来館 (TEL) 354-8065 (FAX) 329-5792

自然観察会に参加して

四日市の自然に触れてみよう！

四日市公害と環境未来館が主催する「自然観察会」では、本市の豊かな自然に触れ合えます。さまざまな分野に詳しい専門家と一緒にじっくり自然を観察すると、新しい学びがたくさんあります。観察会は毎月1回（12月と翌年3月を除く）の開催予定で、春夏秋冬それぞれの魅力が楽しめます。

6月のテーマは「河口のいきもの～カニ、貝、塩生植物～」。タモとバケツを両手に持って、潮風を感じながら鈴鹿川河口の砂地を歩きます。生き物を発見したときは、慌てず



昨年、鈴鹿川河口で開催された「自然観察会」

静かに観察するのがポイントです。人間の足音を感じると、カニがそこら中を横歩きしてくぼみに隠れてしまいます。生き物にとって河口は大切な棲みかです。

また一方で、川岸の一部には大量のプラスチックごみが押し寄せています。道に捨てられたごみが雨で川に流されてしまうからです。自然観察会を通じて、自然環境を守ることの大切さも学ぶことができます。

事前申し込み制のため当館ホームページからお申し込みください。



文化財さんぽ

問 文化課 (TEL) 354-8238 (FAX) 354-4873

古代の寺院跡「智積廃寺」

市内には現存する寺院のほか、石碑などがかつて存在したことを示す寺院跡が多くあります。中でも最も古くに建てられたと考えられるのが、奈良時代の初めに現在の智積町にあった「智積廃寺」です。

智積廃寺は、1967（昭和42）年の東名阪自動車道建設に伴う発掘調査により、金堂、講堂、僧房と想定される建物跡が、南北に一直線に並び伽藍配置で確認されました。また、建物の屋根に葺かれたハスの文様の瓦、鬼瓦、鴟尾などのほか、寺院内で使われた土器も出土しました。調査以前にも、金箔を装飾した



智積廃寺の石碑・説明板（智積町）

タイル状の仏像「塙仏」が出土しており、荘厳さ、華やかさを持つ寺院がこの地に存在していたことが分かっています。

この寺は、672年に勃発した古代最大の内乱「壬申の乱」で大海人皇子（後の天武天皇）に協力した地元の豪族が、朝廷から技術などの援助を得て建築した、との説があります。古代へのロマンが深まりますね。

現地には石碑や説明板があり、出土した瓦や塙仏は、くるべ古代歴史館（大矢知町）に展示されています。現地に立ち、また出土品を見て、古代の息吹を感じてみませんか。